



伝統の舞、祭囃子、山車のきしむ音。今年も暑い2日間がまちを駆け抜けました。約1万5千人の来場者で、にぎわいを見せた多古祇園祭。

新町、本町、仲町、高根の4町から繰り出す山車はまさに圧巻で、今年も祭り人たちの熱気がまちを包み込みました。江戸時代から続く伝統の多古祇園祭はこれからも夏の風物詩として歴史を刻んでいくことでしょう。

多古祇園祭

—7月25日、26日—



高根
TAKANE



本町
HONMACHI



新町
SHINMACHI



仲町
NAKAMACHI



新町に参加した篠塚さん 本町に参加した平野さん、木内さん、秋山さん (写真左から)

今年の多古祇園祭では、小・中学生を対象に参加・体験者を公募し、中学生3名、小学生1名が参加して山車の引き回しを行いました。参加した久賀小の篠塚悠真さんは「初めての山車はとても重くてびっくりしました。暑い日で大変だったけど、新町の人たちが優しくしてくれて、法被を着て山車を引き回せて楽しかったです。来年も参加したいです」と語りました。

〔写真提供〕いすみ市岬町 君塚義美さん